

敵基地攻撃能力保有は戦争への危険！
対話こそ、市民の命と生活を守る！

12月「19の日」行動



岸田内閣は安倍元首相の国葬強行に続き、統一協会との癒着や政治と金の問題をめぐって、国民の批判を浴びています。また、閣僚も次々と辞任に追い込まれ、これらの問題を前向きに解決する気のない姿勢に対し、国民からの支持率は下がる一方です。

さらには、円高・物価高騰が国民の生活を襲い、年金の減額・高齢者医療の負担増・労働者の賃金は上がらないなど、国民の命と生活は危機にさらされています。そういった中、敵基地攻撃の可能な中距離ミサイルの爆買いなど、軍事費を増大させ税金や社会保障の削減をしようとしています。「反撃能力」と称した表記は、反撃という言葉にも関わらず、実態は真逆の「先制攻撃」を含んでいます。国民が無関心であればあるほど、憲法9条は無視されます！みんなで大軍拡反対、憲法9条守れの声をあげましょう。いまこそ憲法9条を守り、集团的自衛権を容認しない事も求められています。引き続き「憲法改悪を許さない全国署名」の取り組みと対話を進め、19日には多くの仲間や市民とともに声を上げましょう。

とき **12月19日(月)**

午後6時30分～ 街頭演説

午後7時00分～ デモ出発

ところ 京都市役所前(御池通側歩道)

呼びかけ 京都憲法共同センター